

やぶなべ会報

自然を見つめる「やぶなべ会」(青森)発行

誌名	やぶなべ会報
号/発行年/頁	25 / 2009 / 37-43
タイトル	津軽に来てから50年(第4回)
著者名	葛谷孝

自然を見つめる やぶなべ会 (青森)

特別寄稿

津軽に来てから50年 (第4回) - 青森高校時代 -

顧問 葛谷 孝

12年間の青森高校勤務

昭和53年度の人事異動で青森高校へ勤務になった。青森高校は私の職歴からは最も長い12年間であったが、実感としては木造高校の6年間で最も長かった。



[写真1] アラスグサ (80.8.7 黒岳)



[写真2] エゾヒメクワガタ (84.8.3 黒岳)



[写真3] エゾリソウ (96.7.31 黒岳)



[写真4] エゾイワツメクサ (84.8.4 小泉岳)

青森高校時代に強烈な思い出として残っているのは大雪山へ植物の写真を撮影にいった事である。青森東高校で一緒だった K.S 先生と A.K 先生は数年前から日本の都道府県の最高峰に登山することを続けて来た。青森高校2年目(1980年)の夏は、北海道の大雪山に登ることになった。大雪山は高山植物の宝庫と言われている。どうせなら植物に詳しい葛谷をさそって見たらどうか、と言うことになった。勿論、私には否はなく、これがきっかけで青森高校の12年間に4回も行くことになった。二人の先生に頼まれて私がよいと思った植物の写真を彼らの分まで撮ることになった。シャッターを3回押すだけでよい。

大雪山で高山植物の写真撮影

1日目は旭岳山麓の姿見の池の山小屋に1泊した。一行の中で私が一番年長なので、山小屋は混んで泊まれなかった時の用心にテントをもって行けばいい事になり、その代わりに食料や重いものをもっていってくれる事になった。最初この計らいをありがたいことだとおもったが、4日間テントのお世話になることはなく、最初は重かった食料のリュックは日が経つに連れて軽くなり、最後まで軽くならなかったのはわたくしのリュックであった。

まず旭岳に登った。旭岳は火山活動がさかんにおこなわれており、姿見の池周辺以外は見るべきものはなかった。

旭岳頂上は雲の中で何も見えなかった。ただ、旭岳の下山途中に一群の初めて目にする植物があった。チシマクモグサであった。ここからは噴火口(いわゆるお鉢)を右に見ながら黒岳へ急いだ。途中でコマクサを一株見つけて歓声をあげた。二人の先生に頼まれてシャッターを3回押した(1回は私の分である)。

2日目は白雲岳へ向かった。途中北海岳にチシマツガザクラが雑草のように一面に生えていた。またハイマツの茂みの中にリンネソウの花を見つけた。

白雲岳ではチシマギキョウの開花株がたくさんあった。他にも珍種キバナオダマキ等が見られた。

3日目には黒岳から層雲峡に降りて帰途についた。

2回目の大雪山行

大雪山の植物のあまりのすばらしさに次の年(1981)は生物の先生を誘ってここに来たいと思った。帰ってから同室の小山内先生と七尾先生に声をかけると二人とも賛同してくれた。しかも七尾先生は北海道に行く用事があるのでよろしかったら大雪山まで同道しましょうと言ってくれた。

翌年生物担当の3人が大雪山にでかけた。1日目、七尾先生とは黒岳で別れた。黒岳石室には性能のよい双眼鏡と拡声器が備えられており、少しでも登山道からはずれると拡声器から注意される仕組みになっている。二人で小泉岳に登ったときのことである。小泉岳の頂上はなだらかであった。ここでは大雪山特産のホソバウルップソウがあった。残念なことに終わっていた。頂上のすぐ近くに草のおいしげったところがあった。そこで新しいフィルムを詰め替えて現地に向かった。ところが疑心暗鬼というかいつ拡声器で「小泉岳の二人、ルートを外れているからすぐにルートに戻りなさい。」と注意されるようで、大分あわてていたようで、フィルムの巻き上げがなされず、空シャッターだけを押しただけで何も写っていなかった。

帰宅後、小山内先生に頼まれて大雪山の高山植物の名前を教えるために彼の家を訪問した。驚いたことに、彼の写真は皆ピンボケであった。原因はすぐ分かった。彼のカメラに視度調整レンズをつけるだけですべては解決した。小山内先生に、今まで撮り残した植物の写真を撮りにいこうと誘ったら、すぐOKしてくれた。

大雪山の花のスライド上映が評判

次の年(1982)、小山内先生と私の古い友人である木造高校化学担当の青木先生をさそって3人でいくことになった。青木先生とは以前八甲田山にご一緒したことがあり、それ以来すっかり高山植物が好きになり機会があったらぜひ誘ってくださいと頼まれていたのを思い出したのであった。

今回もついでに同じ植物のシャッターを2回きって青木先



[写真5] エゾイチゲ (84.7.23 黒岳)



[写真6] エゾコザクラ (84.8.5 美ヶ原)



[写真7] エゾウサギギク (80.8.5 間宮岳)



[写真8] エゾツツジ (82.7.24 赤岳)



[写真9] エゾツガザクラ (81.7.24 間宮岳)



[写真10] エゾタカネツメクサ (84.8.4 小泉岳)



[写真11] エゾリュウキンカ (81.7.23 白雲岳)



[写真12] エゾクロクモソウ (80.8.7 黒岳)



[写真13] エゾマメヤナギ (80.8.5 間宮岳)



[写真14] クモイリンドウ (84.8.4 小泉岳)

生に記念に1セット差し上げた。小山内先生はこんどはしっかりピントのあった写真をたくさん撮って満足そうにしていた。私は昨年空シャッターを押して撮り損ねた植物(クモイリンドウ、ミヤマアズマギク、チシマギキョウ、エゾオヤマノエンドウ、レブンサイコ等)の写真を撮影した。黒岳石室からここは山の陰になってみえないのを知って今度は落ち着いて写真を撮ることが出来た。

帰宅後、青木先生は五所川原市で私が差し上げたスライドを上映して皆さんを楽しませた。ある日五所川原高校の校医という方から電話をいただいた。「五所川原市で青木先生の大雪山の高山植物のスライドを拝見して痛く感動しました。機会がありましたらぜひごあんないください。」という内容であった。1983年には南八甲田に行く予定だったので1984年に行くことを約束した。此のことは小山内先生にも連絡し了解済みのことであった。奇しくも黒岳の標高は1984 mで登山した西暦の年号と数字が一致する。

津軽のごたく話を1つ

次に紹介するのは、この50年間に、私が聞いた「ごたく話」の1つである。

津軽の田舎の小学校に、大変頭の良い子供がいた。この子が、H市の私立中学校を受験した時の話である。

筆記試験は無事終了した。次の日、面接である。試験官は、「君の趣味は何ですか?」と聞いた。受験生は、趣味の意味がわからなく、逆に試験官に質問した。「シュミとは、なんだば?」試験官は、しばらく考えた後、答えた。「趣味とは、好きなこと、好きなものを言う。」

受験生は、目を輝かせて、「それだば、あついままに納豆かけてくのがシュミだじゃ。」試験官は、思わずふきだしてしまった。受験生は、納豆が安すぎるので笑われたかなと思つて、「スジコだば、もっとシュミだじゃ。」

(次号に続く)

[編集部注] 写真は全て大雪山系で撮影されたものです。また、撮影日に関して西暦の一部(19 XX)が省略されています。



[写真15] クモマユキノシタ (81.7.23 北海岳)



[写真20] トカチフウロ (82.7.23 黒岳)



[写真16] コモチミミコウモリ (80.8.7 黒岳)



[写真21] ダイセツトリカブト (96.7.31 黒岳)



[写真17] コマクサ (96.7.31 黒岳)



[写真22] タカネスミレ (81.7.24 松田岳)



[写真18] コエゾツガザクラ (80.8.4 旭平)



[写真23] ダイセツトウチソウ (80.8.5 北海岳)



[写真19] サマニヨモギ (80.8.6 北海岳)



[写真24] チシマキンレイカ (81.7.21 黒岳)



[写真25] チシマツガザクラ (84.8.4 北海岳)



[写真30] チシマギキョウ (84.8.4 小泉岳)



[写真26] チシマアザミ (84.8.3 黒岳)



[写真31] チシマヒョウタンボク(花)(82.7.23 黒岳)



[写真27] チシマクモグサ (84.8.4 美ヶ原)



[写真32] チシマヒョウタンボク(実)(84.8.3 黒岳)



[写真28] リンネソウ (84.8.4 北海岳)



[写真33] チョウノスケソウ (82.7.24 小泉岳)



[写真29] ジムカデ (82.7.24 美ヶ原)



[写真34] チシマキンバイソウ (96.7.31 黒岳)



[写真35] ヨツバシオガマ (80.8.6 北海岳)



[写真40] ミヤマアワガエリ (82.7.23 黒岳)



[写真36] レブンサイコ (82.7.24 小泉岳)



[写真41] エゾノハクサンイチゲ (81.7.23 美ヶ原)



[写真37] ヤマハハコ (84.8.3 黒岳)



[写真42] ハイオトギリ (84.8.3 黒岳)



[写真38] ミネズオウ (81.7.23 美ヶ原)



[写真43] ホソバウルップソウ (82.7.24 小泉岳)



[写真39] ミヤマハタザオ (82.7.23 黒岳)



[写真44] ナガバキアザミ (96.7.31 黒岳)



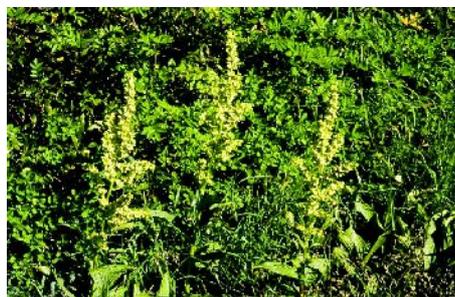
[写真45] ミヤマサワアザミ (84.8.3 黒岳)



[写真48] ミヤマアズマギク (84.8.4 小泉岳)



[写真46] メアカンキンバイ (82.7.24 北海岳)



[写真49] ミヤマバイケイソウ (84.8.3 美ヶ原)



[写真47] ミヤマハンノキ (82.7.24 北海岳)



[写真50] ミヤマキノキノソウ (80.8.4 旭平)